

道路が出来るまで

ここでは、新しい道路が出来るまでの流れを説明します。

1 調査段階

地域の方からの要望などを受けて道路の整備が必要かどうかを調査します。

周囲の道路を調査します。
自動車交通量、自転車や歩行者交通量、渋滞状況、事故発生件数など

2 検討段階

調査の結果、新しい道路が必要になったら、どこにどんな形で作るのがいいのか考えます。

新しい道路を計画します。
関係機関へ事前協議、ルート検討、地域への説明(ルート)、予算取得準備

3 予備設計段階

現地の長さや高さを測って、計画図面を作り、おおよそどのくらいお金がかかるのかを計算します。

計画図を作成します。
関係機関への協議、現地路線測量、地質調査、用地調査、地域への説明(事業の概要)、予算取得

4 詳細設計段階

工事の準備に入ります。道路になる土地を買っていきます。道路の設計図面を作り、設計書を作ります。

設計図を作成します。
関係機関へ計画の届出、用地買収、地域説明会(事業内容)、国の補助金申請、市道の認定

5 工事着手段階

道路に必要な土地が買えたら、いよいよ工事に入ります。建設会社が新しい道路を作っていきます。

工事を発注します。
関係機関へ工事の着手届出、地域説明会(工事内容)、工事回覧板の配布

6 供用開始段階

やっと新しい道路が出来て、通ることができます。みんなの道路です。いつまでも大切に使いましょう。

供用開始します。
関係機関へ工事の完了届出、市道の供用開始告示、地域へのお知らせ



新しく道路を作るには、
いろんな調査や手続きが必要なんだよ！